

報告事項エ

企画展「アートって、なに？～ミュージアムで過ごす、みる・しる・あそぶの夏やすみ」の開催について

企画展「アートって、なに？～ミュージアムで過ごす、みる・しる・あそぶの夏やすみ」の開催について、別紙のとおり報告します。

令和6年6月6日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

## アートって、なに？～ミュージアムで過ごす、みる・しる・あそぶの夏やすみの開催について

令和6年6月6日  
博 物 館

県立美術館の開館まで一年を切った今夏、予備知識の有無に関わらずミュージアムのおもしろさを感じることができ、美術館への期待感が芽生える企画展を開催します。

### 1 会期

令和6年6月29日（土）から8月25日（日）まで（開館日数57日間）  
〔休館日：7月29日（月）〕

### 2 会場

鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室

### 3 主催

アート展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)

### 4 観覧料

一般1,000円（前売・大学生・70歳以上・団体：800円）  
（高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方、難病患者の方、要介護者等及びその介護者は無料）

### 5 関連事業

アーティストトーク、ギャラリートーク、ワークショップ等を開催予定

## <概要>

当館の所蔵作品に加え、国内外で活躍する注目のアーティストによる作品を通じて、多様な切り口でアートを紹介する展覧会です。これまで美術に馴染みのなかった方々や家族連れでも気軽に訪れて会場をめぐり、見たり知ったり遊びながら、アートそしてミュージアムという場所のおもしろさを体感していただきます。

## <主な出品作品等>

- ・藤本由紀夫《EARS WITH CHAIR (TOTTORI)》  
サウンドアートを美術にとりいれた藤本の代表作。聴覚情報に変化が加わることにより参加者の感覚を揺さぶる体験型の作品。
- ・飯川雄大《デコレータークラブ—0人もしくは1人以上の観客に向けて》  
館内に仕掛けられたロープを引っ張ると、別の場所で別のアクションが起きる作品。参加者は、時差をもってその出来事に対する気付きを得る。
- ・アンディー・ウォーホル《キャンベルスープ缶》  
スープ缶を原寸大で再現したアルミニウム製オブジェ。  
令和3年度に購入し、初公開となる。
- ・森村泰昌《第三のモナ・リザ》を含むモナ・リザシリーズ3点  
“なにものかに扮するポートレート写真”を発表し続けている森村による「美術史シリーズ」に数えられる大型の写真作品。鑑賞者に強いインパクトを与えながら価値観に揺さぶりをかける。
- ・そのほか、会期中には木村崇人による「木もれ陽プロジェクト」（自然現象を利用し、星の木もれ陽が降り注ぐ世界を作り出す）のワークショップ等を開催します。

# アートはなに？

ミュージアムで過ごす、  
みる・しる・あそぶの夏やすみ



# What's ART?

<令和6年度企画展>

アートって、なに？ 2024年6月29日[土]－8月25日[日] 鳥取県立博物館2階 第1.2.3特別展示室

休館日|7月29日[月] 開館時間|9時－17時(会期中の土曜日は19時) ○入館は閉館の30分前まで 観覧料|一般:1,000円(前売り・大学生・70才以上の方・20名以上の団体:800円) ○次の方は無料です/高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方、難病患者の方、要介護者等及びその介護者

主催|アート展実行委員会(鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社) 協賛|NEC 山陰放送 モリックスジャパン 三和商事 TTC 鳥取県情報センター



# What's ART?

# アール・オブ・アソビ

ミュージアムで過ごす、みる・しる・あそぶの夏やすみ

新しい県立美術館の開館まで一年を切った令和6年の夏。鳥取県立博物館では、家族連れでもっと気軽にアートを楽しみたいと思っていた方々や、これまでアートに何となく距離を感じていた方々などに向けて、自由に会場をめぐること、知らず知らずのうちにアートの世界の広がりやおもしろさに出合うことのできる体験＝展覧会をお届けします。

本展では、当館の美術部門が50年以上の歳月のなかで展開してきた多岐にわたる活動を踏まえて、当館が所蔵する美術作品や、国内外で活躍する注目作家の作品などを、多様な切り口を設定して紹介します。会場をめぐる人々は、五感を総動員しながら、予備知識の有無にかかわらず、それぞれの視点でアート、そしてミュージアムという場所のおもしろさを体験できると考えています。本展を通じて、これまでミュージアムに敷居の高さを感じたり、あまり関心を持っていなかった方々の中にも、新しい県立美術館への期待感が芽生える。そんな夏やすみのひと時を当館で過ごしてもらいたいと思います。



1 坂川雄大 《デコレータークラブ 新しい観客》  
2022年 スポーツバッグ・キャリーカート サイズ可変  
撮影：坂川雄大

2 前田寛治 《男の像》  
1924年 油彩・カンヴァス 当館蔵

3 中ハシケンシゲ 《ニノミヤ君》1992年 鉄 当館蔵

4 眞島竜男 《無題(栄光の彼方へ)》  
インスタレーション・ビュロー 1999年～ 梱装したポスター  
©Tatsuo Majima Courtesy of TARO NASU  
Photo by Keizo Kioku 当館蔵

5 小早川秋聲 《追分物語》  
大正後期 絹本着色 当館蔵

<表面> 坂川雄大 《デコレータークラブ —0人もしくは1人以上の観客に向けて>(部分) 2023年 ロープ・消車・鉄 サイズ可変 借展『デコレータークラブ：未来のための定規と縄』(鹿児島県・霧島アートの森)での展示風景 撮影：坂中雅文



## Access

- ◎JR鳥取駅からバスで
  - ① 100円バス「くる梨」(緑コース)で「①仁風閣・県立博物館前」下車すぐ
  - ② ループ麒麟獅子(土・日・祝のみ)で「③鳥取城跡」下車すぐ
  - ③ 砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
  - ④ 市内回り岩倉・中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m
- ◎お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

○当館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください

本展会期中の関連事業については当館ウェブサイトにて随時お知らせします。

**鳥取県立博物館**  
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124 TEL. 0857-26-8042 FAX. 0857-26-8041  
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/ E-mail:hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

◆次の企画展◆「ネコ」～にゃんと! クルなハンターたち～ 2024年10月5日(土)～11月10日(日)



いっしょにみてみて、もくようび。  
展示室に小さなお子様と一緒においでいただき、気兼ねなく作品鑑賞をしていただくための時間として、会期中の毎週木曜日の午前中を「子どもと一緒に鑑賞優先時間」としています。ベビーカーを押してぜひお越しください。

お客様の満足のその先へ…

**MORRIX**

株式会社モリックスジャパン  
TEL 0857-23-3641

本社 鳥取市商栄町203-6  
倉吉店 倉吉市幸町5-29番地ユーミーレジデンス1-3号  
http://www.morrix.co.jp/

**NEX NIPPON EXPRESS**

日本通運株式会社 鳥取営業課  
TEL.0857-28-0202